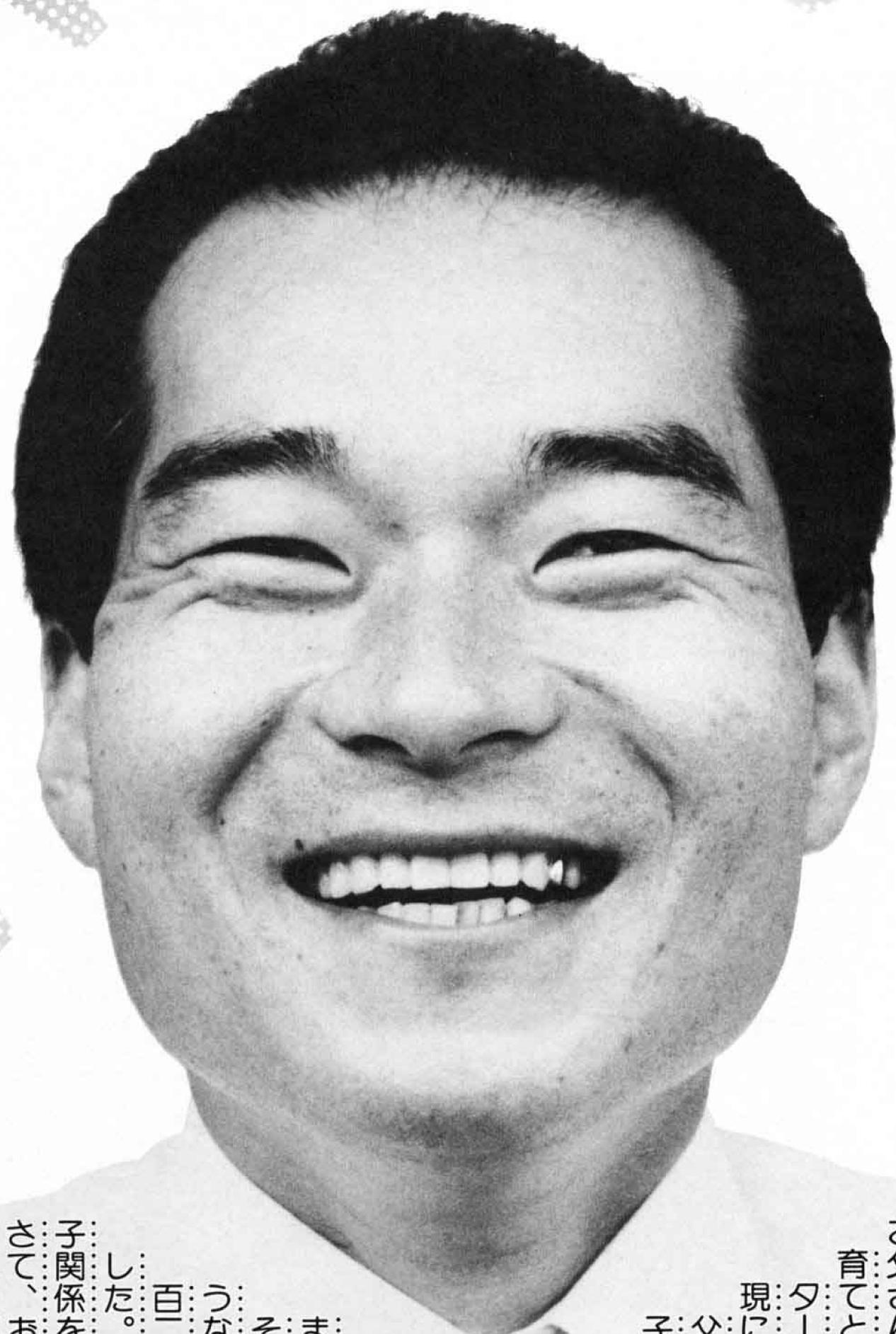


# お父さん、出番ですよ。



お父さんは仕事、お母さんは家事と子育てというのは、一昔前の家族のパターンとなつてきているようです。現に、スーパーで買い物をするお父さんや、土曜日には保育園に子供の迎えにくるお父さんが見られるようになりました。

こうした背景には、労働時間の短縮や女性の社会進出などによる価値感の変化が考えられ、家族の関係や役割が微妙に変化しつつあると言えます。

そこで実際、父と子の関係はどうなのか、市内三校の小学五年生百二十三人にアンケートを行いました。今回は、その結果を参考に父子関係を考えていきたいと思います。さて、お父さん、出番ですよ。

お父さん、出番ですよ



小学五年生百二十三人に聞きました

# あなたのお父さんは?

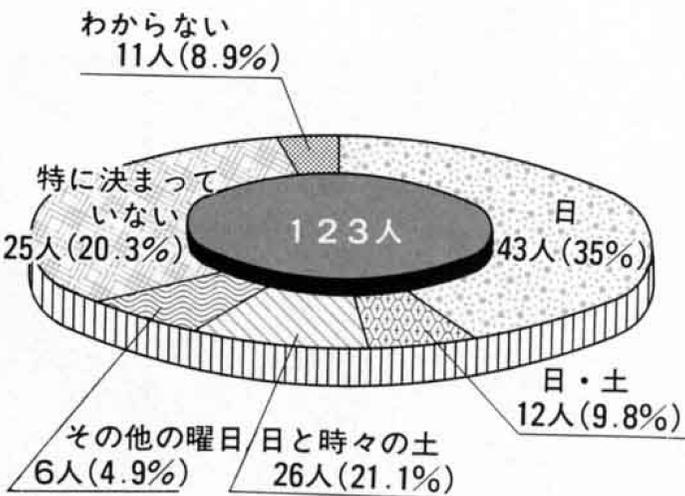
この「お父さんアンケート」は、九月の十三・十四日に市立丘小学校・吉永第一小学校・田子浦小学校の三校に担当者が直接おじゃまし、各校の五年生一クラスずつ計百二十三人に記入していただきました。  
お父さんの休み、父と子の触れ合いの様子、子供の要望などを率直に聞いてみました。

**Q~1**  
あなたのお父さんは  
何曜日か休みですか

## 週休二日は約三割

休日が一番多いのは「日曜日」で、三五%のお父さんが休みです。これに対し、週休二日のお父さんは、隔週休みまで含めると約三割ぐらいでした。

「特に決まっていなない」という答えが約二割ありますが、これは自営業の人以外に日曜出勤の多いお父さんや交代勤務のお父さんが子供の目から見て「特に決まっていなない」と映っているのかもしれない。

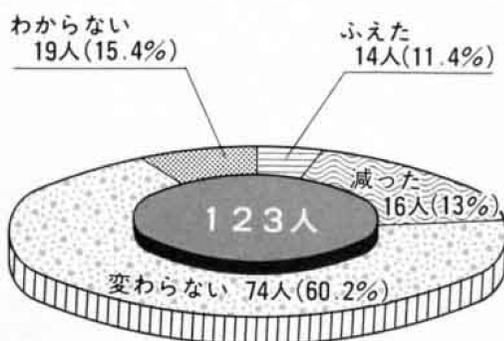


**Q~2**  
あなたのお父さんは  
前と比べて休みがふえましたか

## 六割が変わらない

六割のお父さんの休みは、ふえも減りもしていません。減った人が一三%で、ふえた人は一一・四%です。

子供から見ると、お父さんの休みは「減ることはあつてはふえることはあまりない」という感じでしょうか。



**Q~3**  
あなたのお父さんは休みのとき  
主に何をしていますか

## 家でこまめに働く反面 余暇も積極的に過ごす

一番多いのは家の仕事で二七・七%。休みの日にも家でこまめに働くお父さんの姿が目につかびます。

また、スポーツと趣味、レジャーを合わせると四二・三%に達し、余暇を積極的に過ごしているお父さん像もうかがえます。

家の仕事	34人	(27.7%)
趣味	21人	(17.1%)
スポーツ	20人	(16.3%)
勉強	3人	(2.4%)
レジャー	11人	(8.9%)
何もしない	23人	(18.7%)
その他	11人	(8.9%)

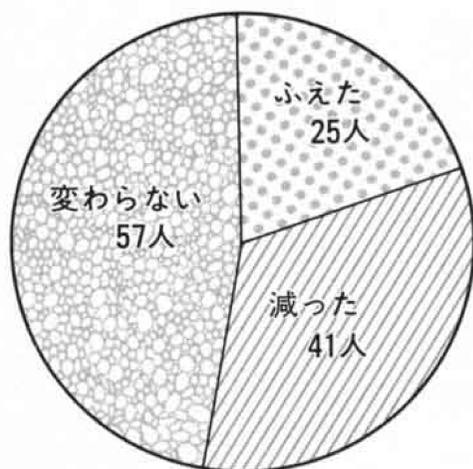




その一方で何もしないお父さんは一八・七%。ふだんの仕事の疲れで何もする気がおきないお父さんもいるのですね。  
 その他の意見の中には「休みの日も家で会社の仕事をしている」というモーレッツお父さんが三人いました。

Q~4

では、あなたがお父さんと一緒にいる時間はふえましたか



共通の時間を

なかなか持てない

お父さんと一緒にいる時間が減ったと答えた子供が、ふえたという子供を上回りました。

この結果を質問二の結果と合わせて考えると、お父さん自身の休みがふえた人が十四人いたのに対し、一緒にいる時間がふえた人は二十五人いることから、子供と一緒にの時間を持とうとしている様子がうかがえます。

しかし、逆に休みが減った人は十六人なのに、一緒にいる時間が



Q~5

あなたはお父さんとどんな事を一緒にしますか、一つか二つ書いてください

減った人は四十一人もいることから、共通の時間を持ってないお父さんもそれ以上にふえているという事になります。

スポーツや

買い物を一緒に

質問五の答えは複数回答を認めたこともあって、三十五種類百六十六件の答えがありました。

同じような答えをまとめると、一番多かったのはキャッチボールで三十件(一八・一%)、以下買い物二十五件(一五・一%)特に何もしない十六件(九・六%)勉強十件(六%)などの順でした。

答えをジャンル別に整理し直すと、スポーツの五十四件(三二・五%)、ゲーム・ファミコンの十九件(一一・四%)などが多い答えでした。

主な答え	10	20	30	(人)
キャッチボール	[Bar]			30
買い物	[Bar]			25
特にない	[Bar]			16
勉強	[Bar]			10
釣り	[Bar]			9
ドライブ	[Bar]			8
トランプ	[Bar]			7
テレビ・ビデオ	[Bar]			7
その他	[Bar]			54

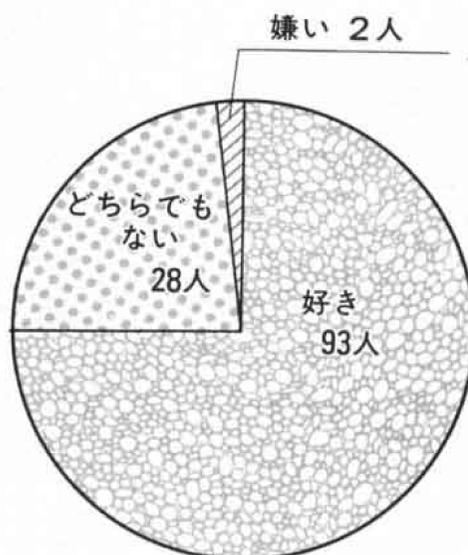
Q~6

あなたはお父さんが好きですか

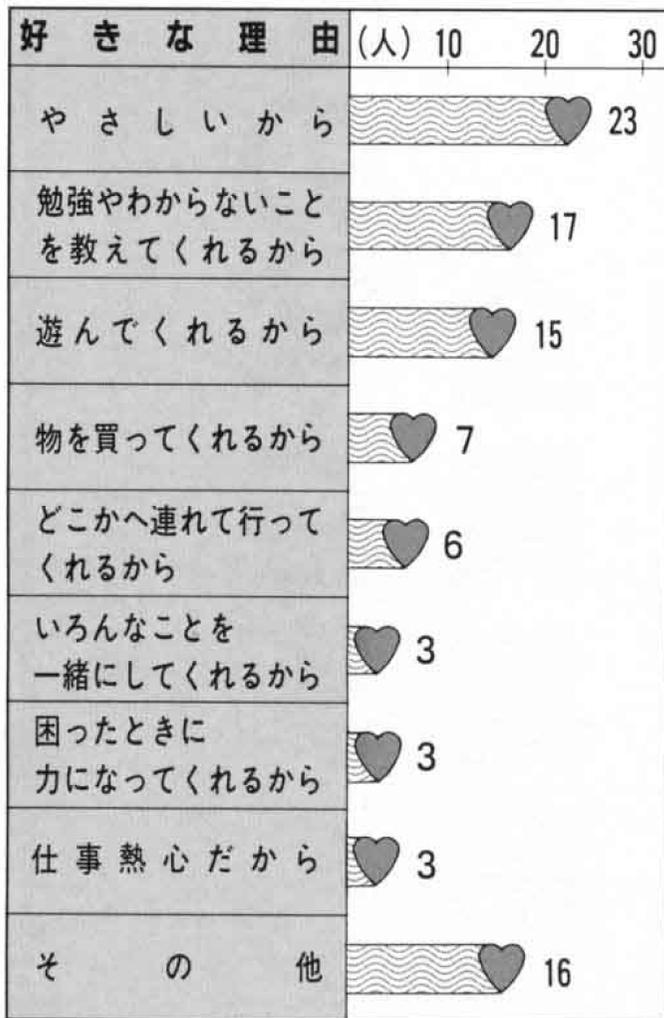
好きな人が大多数

お父さんを「好き」と答えた人が九十三人(七五・六%)で、多数を占めました。

お母さんに配慮して「どちらでもない」と答えた親孝行な子供もいたようで、ほとんどの子供が、お父さんを好きと考えていいと思います。



お父さん、出番ですよ



同じような傾向の答えをまとめてみると、「どこかへ連れて行ってくれるから」などを含めた「遊んでくれるから」という答えは二十七件(二九%)、「やさしいから」「明るい性格だから」というお父さんの性格を理由にした答えも二十七件ありました。なお、この答えは女の子に多くみられたのが特徴でした。

子供たちのお父さんへの要望を聞いたわけですが、三十三種類の答えが寄せられました。一番多いのは「遊んでほしい」「どこかへ連れて行ってほしい」の各二十件(一六・三%)で、次は「ファミコンのカセットなどいろいろな物を買ってほしい」が十三件(一〇・六%)でした。要望

Q6~1

「好き」と答えた人に聞きます  
なぜ好きですか、理由を一つ書いてください

やさしいからが一番

答えは二十一種類ありました。一番多かったのは「やさしいから」の二十三件(二四・七%)で、以下、主な答えは「勉強や、わからないことを教えてくれるから」が十七件(一八・三%)、「遊んでくれるから」が十五件(一六・一%)でした。

Q~7

あなたがお父さんに  
してほしい事を一つ書いてください

お父さん、遊んで

子供たちのお父さんへの要望を聞いたわけですが、三十三種類の答えが寄せられました。一番多いのは「遊んでほしい」「どこかへ連れて行ってほしい」の各二十件(一六・三%)で、次は「ファミコンのカセットなどいろいろな物を買ってほしい」が十三件(一〇・六%)でした。要望

徴でした。

一方、「勉強やわからないことを教えてくれるから」「困ったときに力になってくれるから」という

ような、お父さんを頼りにしている答えも二十二件(二三・七%)ありました。

「物を買ってくれるから」「お金をくれるから」という現実的な理由をあげた子供が十一人(一一・八%)おり、現代っ子供がうかがえました。

あなたがお父さんに  
してほしい事を一つ書いてください

についても同じ傾向の答えをまとめてみると、レジャーも含めた「遊んでほしい」は五十三件(四三・

一%)で半数近くを占めました。以下、「早く帰ってきてほしい」「もっと休んでほしい」という様な触れ合い時間の増加を求める答えが十七件(二三・八%)、「たばこを吸わないで」「長生きして」という健康を祈るものが八件(六・五%)ありました。

その他の答えでは、「子供に物を頼まないで」「自分の非は認めて」という厳しい意見や、「夜、お母さんと遊びに行かないで」という夫婦仲がよすぎるお父さんへの要望もありました。



まとめ

これから二十一世紀に向かって余暇の時代になると言われますが、この結果をみる限り、大多数のお父さんは仕事に追われているようです。

しかし、限られた時間の中で多

くのお父さんは、家の仕事や余暇活動あるいは親子の触れ合いに積極的に生活している様子が見えられます。このアンケートは、あくまで子供の目から見たお父さんの様子であり、必ずしも正確でない点があるかと思いますが、「お父さんは、まあ頑張っている」と言えるのではないのでしょうか。

紹介します 父と子のユニークな関係

# 元気印の父と子

## 全員集合

一昔前なら家の大黒柱として大事にされたお父さん。ところが時代は変わり、職場では仕事、家庭でもサービスを求められ、疲れているお父さんも多いとか。

せよ「お父さん」、「パパ」あるいは「おやじ」として元気いっぱい頑張っているお父さんも大勢います。ここでは、市内のいろいろな父と子を紹介します。

しかし、その反面、どんなタイプに



△(左から)中2では市内チャンピオンの英幸君、章男さん、高校県チャンピオンの成昭君

### 親が一生懸命にやれば 必ず子に伝わる

荻沢章男さん、成昭君、英幸君(久沢西)

十八年来、ボランテニアで少年野球「鷹岡ストロングホークス」を指導し、鬼監督として名をはせている荻沢章男さん(四十六歳)。長男の成昭君(富士宮北高二)と次男の英幸君(鷹岡中二年)が、「物心ついたときには野球をしていた」と言うほど、野球に情熱をかけていました。ところが、「中学生になっても当然野球をやりたい」と思っていた二人の子供は、ひよんなことから相次いで柔道部へ。「親子で共通の話題を」と思っていた荻沢さんです。最初は戸惑いましたが、応援するうちにいつしか自分も柔道へ。元来熱血漢の荻沢さんのこと、すぐに熱中したのは言うまでもありません。荻沢さんは「親が一生懸命にやれば必ず伝わるものがある」と語ってくれました。

### エツちな話もへっちゃら 何でも話せる父と子

菅井良美さん、大士君、由里香さん(西比奈町二)

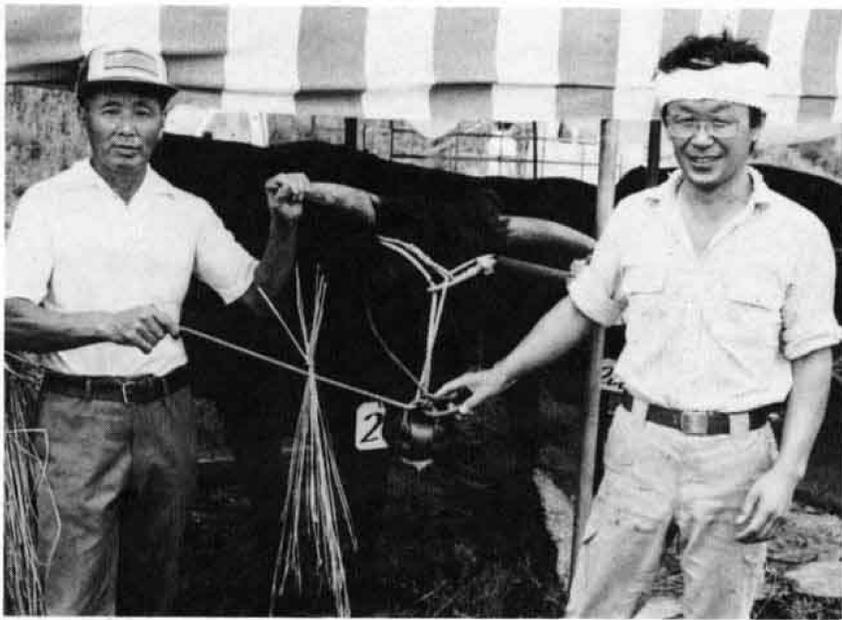
「大士、お前なんで目をはらしてんだ」「エへ。友達とけんかしたんだ。先生にひどく怒られたよ」こんな調子で菅井家では、親子が何でも話し合います。子供にとっては親に知られたくない失敗談や、親にとっては子供に聞かれると困る性の話まで、とにかく何でも話題になっています。

これというの、明るい家庭は会話から」という菅井良美さん(四十歳)の方針からです。長男の大士君(吉原三中一年)は、それが当たり前として育ってきたので、自分から何でも話します。ですから、菅井家の夕食どきは、にぎやかなこと。菅井家に親子の秘密はありません。



△吉永一小校区の子供会会長も務める良美さん(中央)と、大士君(左)、由里香さん

お父さん、出番ですよ



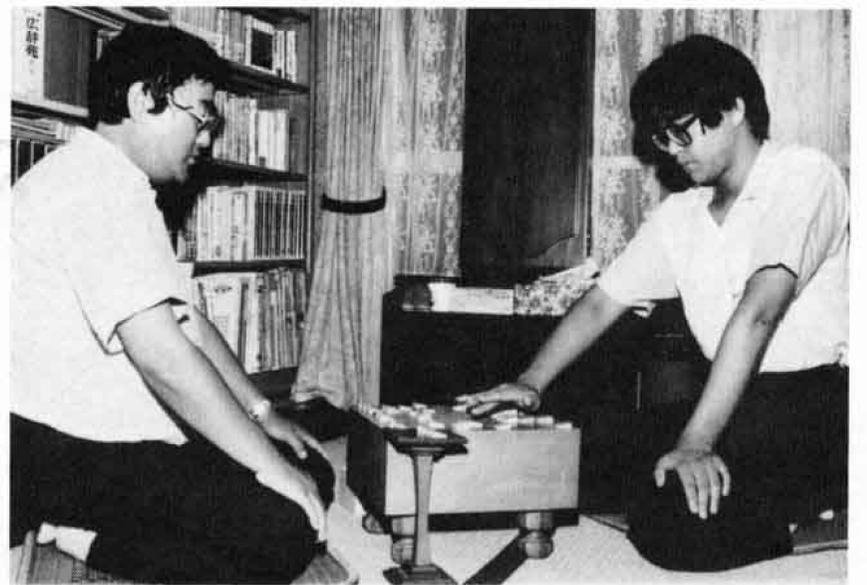
△市長賞に輝いた牛と晴太良さん(左)、要一郎さん

# 親子のチームワークで 高級肉牛の育成をめざす

服部晴太良さん、要一郎さん(八王子町二)

富士市でもだんだん少なくなってきた畜産農家。服部晴太良さん(六十六歳)・要一郎さん(四十歳)親子は、昭和三十四年から畜産を始め、現在は肉牛約七十五頭を飼う市内有数の畜産農家です。飼育作業は機械化され、昔に比べれば随分楽になったと言いますが、なんせ生き物相手の仕事、気が抜けません。二人のチームワークが欠かせないわけです。

作業は親子で分担していますが、飼い方も自然と個性が出るとのこと。服部家の特別なノウハウでもあるのかと尋ねれば、声を合わせて「そんなもん、長年の勘だよ」と言い切ります。牛肉の自由化など畜産農家にとって厳しい環境については「高級な肉牛づくりをすればなんとかなるよ」と自信の笑い。ことしの畜産共進会でも見事市長賞を受賞しました。



△攻めの将棋の克吉さん(左)と臨機応変型の雅輝君

# 手ほどきを受けた将棋で 父を追い抜いたけど……

島田克吉さん、雅輝君(富士中島上)

将棋を父親から習った人も多いことでしょう。島田雅輝君(富士高三年)も、将棋好きのお父さん克吉さん(四十四歳)から小三のとき手ほどきを受けました。当時、克吉さんの将棋仲間が家によく来たこともあって、雅輝君は大人の間でもまれ、めきめきと腕を上げました。小五のとき、初めて参加した小学生の県大会で東部二位となり、それからは親子で毎晩のように将棋板を囲みました。以後、県では絶えず一位か二位の腕前です。雅輝君がお父さんに勝ったのは中二のとき。「最近では負けるのが悔しいのでほとんどやりません」(克吉さん)とのこと。しかし、雅輝君にとってお父さんは怖い存在。将棋のように立場が変わるのはまだ先のようにです。

# 自主性を大切に ざっくばらんな父と娘

熊谷芳夫さん、志保さん、奈保さん、早由里さん(水神)

熊谷芳夫さん(四十二歳)は、三人の娘に囲まれた優しいお父さん。芳夫さんの子育て方針は、子供の自由をできるだけ尊重すること。「自主性を大切にしたいので、勉強しろなんて言いませんね。でも、時に自由を通り越してわがままを言うことがあります。夏休みにそんなことがあったので、長女の志保(高二)を電気工事現場(自営)へ連れて行ったら、理解したようです」とピリッとした点も。そうしたしつけからか、父子関係は明るく、ざっくばらん。中二の次女奈保さんといまだに一緒にお風呂へ入ることもあるとか……。

また、今、親子でよく話題になるのが、ラップ。志保さんはサックス、奈保さんはトランペット、そして消防団に入っているお父さんは消防のラップ。それぞれ全く違う楽器ですが、ラップ談義に花が咲きます。

▽左から芳夫さん、早由里さん、この日はサックスを手にした奈保さん



お父さん談義

# ミスデリアスな お父さんになるろう

人間は十人十色。人それぞれ違った個性があるように、父と子の関係についてもいろいろなタイプがあつて当然です。ですから、親子関係や父親の役割に「これが絶対正しい」などというものはありません。

また、親と子の関係は、そのときの社会環境や経済環境によつても大きく左右されます。しかし、その一方で昔から脈々と変わりない親子関係の部分もたくさんあります。

今回の特集の締めくくりとして、「父親とは何ぞや」と考えながら父親を実践している富士東高校教諭の丸茂湛祥さんにお話を伺つてみました。

## 母親的になつて

### きた父親

子供たちと身近に接する立場から、最近の父と子の関係をどう見ていますか

父親が母親的になつてきていますね。そして、子供と平等なイメージが強くなってきています。父親と母親の役割は違うのですから父と母が同じ立場になる必要はないと思います。母親が子供を抱きかかえるのなら、父親は背負うよ



まるもたんしょう  
丸茂湛祥さん(伝法・49歳)

県立富士東高校の国語の先生。文芸・美術・音楽などにぬきんてた才能を持ち、その実績から今春「教育文化奨励賞」を受賞。富士市を代表する文化人の一人。立正大学の講師、本蔵寺の住職、伝法保育園の理事もかね大変忙しい。大学3年・1年・高校2年の3男の父。

うな違いかな。では、最近のお父さんをどう思われますか

私は父親が、極端に言えば子供にこびて触れ合っているような感じがします。親子が触れ合うこと自体はとても大切なことですし、子供の立場を考えてあげるのもよいことです。でも、子供の御機嫌をとるかのようなことはよくないんじゃないでしょうか。



お父さん、出番ですよ



△熱心に語ってくれた丸茂湛祥さん

丸茂さんの考える父親はど  
ういうイメージですか

父親は子供と遊んでやること  
も大切ですが、一人の人間とし  
て子供が持つことのできない世  
界を持っていることが大事です。  
ミステリアスな部分を持つてい  
るお父さんということかな。子  
供がそれをかいてみて「へえー  
お父さんですごいんだな」と言  
うようなね。まあ、それは文化  
的なものでもスポーツでも趣味  
の活動でも、何でもいいわけ  
ですよ。お父さんの実力を見せつ  
けることによって、自然に畏敬  
の念と言いか信頼感のようなも  
のが子供心に育っていくのでは  
ないでしょうか。

### 家族の

### アイデンティティを

丸茂さん御自身は父親として  
どんな振る舞いをしてきたのでし  
ょうか

私は四つのお父さんが戦死したの  
で父親像がありません。それで、学  
生時代を過ごした京都の友人の家  
庭が印象深かったので、まずそれ  
をまねしました。その家は、元旦  
に父親を先頭に家族で謡曲をうな  
るのです。それを我が家にも取り  
入れ、うちの正月は今でも謡曲で  
始まります。

ね

「鶴亀」などなるわけです

そうですね。うちではほかにもい  
ろんな日を決めています。五月三  
十日は、エンドウ豆の好きだった  
祖母の命日なので、エンドウ豆の  
御飯を食べるとか、九月十五日は  
うちの保育園が火事に遭ったので  
みんなで冷たい物を食べるとか、  
ほかにも幾つか行事を決めて家族  
のアイデンティティのようなもの  
をつくりました。

### ピグミー族は

### 日本人より劣るか？

子供たちと日常的に触れ合っ  
た話がありますか

何年か前になりますが、私は子  
供たちの思考が足りないと、私は  
家庭文化講座を一時期毎晩開きま  
した。私が読んだ本でおもしろか  
った部分のコピーとかを、妻と子  
供の前に聞かせるのです。また、  
「土人のピグミー族は日本人より  
劣っているかどうか」などを論じ  
合ったりもしました。

子供たちは嫌がりませんか  
たか

子供たちは、最初はいやいやつ  
き合うという感じでしたが、慣れ  
てくると意外におもしろがって、  
友達を連れてきたりもしました。  
うちはお寺ですから、子供たちに  
得度もさせなければなりませんか  
ら、仏教やお経の話もしましたね  
まあ、子供の側からすれば、「おや  
じがするんじや聞かないとまずい」  
という被害者意識もあったんでし  
ょうね。(笑)



女性の社会進出と父親の役割  
については、どうですか

女性の社会進出には、経済的な  
問題と社会的な役割という二面性  
がありますね。夫婦は愛情と信頼  
を相互に持ち、子供たちが安心で  
きる家庭をつくらなければなりま  
せん。女性が働けば、男性の協力  
は欠かせませんし、生活の中で合  
理的にしなければならぬ点が出  
てくるでしょうね。しかし、合理  
化する度合いで、本来人間として  
楽しむべき生活の部分、食事や団  
らん、余暇活動などを忘れては  
いけませんね。お父さんが料理の  
好きな人なら、家族でカレーをル  
ーからつくってみるなどすれば楽  
しいんじゃないかな。

### 本物の生活を大切に

これから二十一世紀に向かっ

て余暇の時代が来ると言われます  
が、父親の役割や家族はどうなる  
と思いますか

世の中どんどん便利で快適にな  
ってきています。でも、「このま  
までいいのかな」って私はよく思  
っています。食べ物の四季はなくなっ  
てきているし、家にいるだけで映  
像上のいろいろな体験ができてし  
まうなど、どれをとっても人間本  
来の生活実感がなくなっています。

ね

生活実感のある本物の生活を大  
事にすべきですね。それにはお父  
さんが率先して汗をかき、本物の  
生活を示すべきです。きっと人々  
は合理的になりすぎた生活に息詰  
まりを感じ、余暇は原始的な手づ  
くりの生活を求めるようになるで  
しょう。

ありがとうございました